



# 五木東小 第30号

学校便り  
文責

生田 文明

## 給食に感謝



### 給食週間の取組

学校給食の意義についての理解と関心を高め、給食への感謝の気持ちを育むことを目的に、一月二十六日～三十日を給食週間と定め、期間中に①給食に関する講話、②給食を支えていただいている方々への感謝会、③食に関する授業（学級活動）などを実施しました。

①の給食に関する講話では、まず、栄養教諭が、給食の始まりの頃の献立を参考にした当日の給食をもとに、それを食べた児童の感想を交えながら、給食の歴史について話しました。つぎに私が、「食べ物大切に」をテーマに、日本の食糧自給率や食物廃棄率、そして世界では、八人に一人が飢餓で苦しんでいる状況にあることを伝えました。

「食事ができることは、当たり前のことではない。食事ができることに感謝し、大切な食料・命の源である食料を粗末にしないようにしましょう。」と話しました。



また、②の感謝の会では、村内の給食関係者の方々や給食調理員と一緒に会食を行いました。「地産地消」を大切にする本校給食への思いをそれぞれの立場から、子どもたちに伝えていただきました。

③の授業では、各学級で給食を題材し、給食に関する理解と感謝の気持ちを深めていきました。

さらに、「食育コーナー」を図書室に設置し、ランチルームでは、「豆つかみ」や「クイズ」コーナーを設置するなど、環境からも子どもたちの食への興味・関心を高めていきました。

今回の給食週間を通じて、給食への関心がさらに高まったようです。今後も感謝の気持ちを忘れずに、好き嫌いをしないよう指導してまいります。

## いいところめがね 人権ミニ集会

二十九日の人権ミニ集会では、「相手の気持ちを考え行動しようとする気持ちを高める。」ことをテーマに掲げ、ペアトークで、自分の好きな食べ物やスポーツ、自分のいいところやクラスの良いところなどを紹介し合う活動を行いました。その後、全体へ発表してもらい、全校児童で共有しました。

終始、和やかな温かい雰囲気



のもとで集会が行われました。最後に私から、「みなさんがもっている『いいところめがね』で周りを見てみましょう。きっと友だちのいいところが見えてきます。友だちのいいところをたくさん見つけることが、仲良くなる秘訣です。」と子どもたちに伝えました。

## 野鳥が訪れる学校へ

野鳥のえさが少なくなるこの時期。果実や穀物、水などを餌台（野鳥のランチルーム）に置き、訪れる野鳥を観察しているところです。餌台は、子どもたちにもっと野鳥に興味をもち、ふるさとの自然のすばらしさを感じてもらいたいとの願いから、今回設置しました。

二年生に当番をお願いし、全児童で観察しているところです。これまで、ヒヨドリ・メジロ・スズメなどが餌台にやってきました。

それぞれの野鳥の力関係や食べ物、食べる仕草・訪れる時間帯や頻度なども、観察するにつれてよく分かってきました。また、訪れる野鳥を、双眼鏡を使って詳しく観察する子どもたちもいます。

教室から野鳥観察ができる。自然豊かな五木だからこそ、できることであると感謝しています。



メジロ



ヒヨドリ



餌台